

佐賀県研究成果情報（平成 27 年度）

カンキツ新品種 ‘佐賀果試 35 号’					
<p>[要約] <u>中晩生カンキツ</u> ‘佐賀果試 35号’ は ‘西之香’ × ‘ポンカン’ の <u>交雑実生</u> より作出された。1月下旬の無加温ハウスにおいて ‘不知火’ と糖度はほぼ同等で、クエン酸含量は1%以下になる。また、独特の食感を有し食味は極めて良好である。</p>					
果樹試験場・品種開発研究担当			連絡先	0952-73-2275 kajushiken@pref.saga.lg.jp	
部会名	果 樹	専 門	育 種	対 象	カンキツ

[背景・ねらい]

中晩生カンキツでは、‘不知火’ の樹勢低下・酸高・着果不安定、‘いよかん’ ‘清見’ の価格低迷等の問題がある。また他県産との差別化を図るため、高糖度で早期減酸が可能な県産オリジナル品種の開発が求められている。

[成果の内容・特徴]

1. 1996年に早期減酸・大果・高糖度を目標として ‘西之香’ に ‘ポンカン’ を交配し作出され、2014年に最終評価を行い選抜を完了した。2015年8月に品種登録出願し、同年11月27日付で出願公表された。
2. 樹勢は中程度、無加温ハウスで、開花期が4月下旬、完全着色期が11月下旬であり、年明けの1月中旬頃成熟する。
3. 1樹あたり収量は5年生で約40kg、6・7年生では約70kgである（表1）（図1）。
4. 果形は扁球で、果面はやや滑らかである（図2）。果皮は橙色でさわやかなオレンジ香を有し剥皮性は良い。じょうのう膜は薄く、つぶつぶ感があり独特の食感を持つ。食味は果汁多く極めて良好で種子は入らない。
5. 1月下旬の無加温ハウスにおいて ‘不知火’ と糖度はほぼ同程度で、クエン酸含量は1%以下になる（表2）。また、貯蔵中の腐敗や虎斑症の発生は ‘不知火’ に比べて少ない（表3,4）。
6. 400g以下の果実では、糖度12度以上で安定している（データ略）。

[成果の活用面・留意点]

1. この成果については無加温ハウスのデータを根拠としていることから、本品種については、当面、無加温ハウスで推進する。
2. 8月中旬から9月にかけての土壌水分の急激な変化は裂果を助長する恐れがあるため、適正な水管理に努める。
3. 本データは比較的土壌水分が高い場内水田転換園での結果である。

[具体的データ]

表1 ‘佐賀果試35号’ 苗の1樹あたり収量 (kg)

系統名	2013年産	2014年産	2015年産	樹容積 <sup>1)</sup>	樹齢
佐賀果試35号	42.2	75.5	74.6	14.2	7年生

1) 樹容積の調査日は2015年6月10日

表2 ‘佐賀果試35号’ の果実特性 (2013年より3ヶ年の平均値 調査日:1月)

系統名	果形指数	1果重 (g)	果肉歩合	着色	果皮色	クエン酸含量 (%)	糖度 (Brix)	糖酸比
佐賀果試35号 <sup>1)</sup>	122	339.5	88.0	10.0	6.4	0.90	12.9	14.4
不知火 <sup>1)</sup>	101	305.4	78.0	10.0	5.3	1.67	12.5	9.3

1) ‘佐賀果試35号’ は樹齢5年生~7年生。‘不知火’ は樹齢9年生~11年生

表3 無加温ハウスにおける収穫後の‘佐賀果試35号’ こはん症発生数 (2014年度)

品種名	調査果実数	こはん症発生果実数					こはん症発生率(累計発生果率)			
		3/3	3/30	4/10	5/15	計	3/3	3/30	4/10	5/15
35号苗(3樹)	160	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不知火M16苗	80	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表4 無加温ハウスにおける収穫後の‘佐賀果試35号’ 腐敗果発生数 (2014年度)

品種名	調査果実数	腐敗果数					腐敗果率(累計発生果率)			
		3/3	3/30	4/10	5/15	計	3/3	3/30	4/10	5/15
35号苗(3樹)	160	0	1	5	6	12	0.0%	0.6%	3.8%	7.5%
不知火M16苗	80	4	7	10	21	42	5.0%	13.8%	26.3%	52.5%

供試樹: 佐賀果試35号

栽培条件: 無加温(ビニル被覆期間11~7月)

貯蔵条件: 常温貯蔵庫内

収穫日: 1/19

入庫日: 2/5

防腐剤: 無散布



図1 ‘佐賀果試35号’ 7年生苗の着果状況

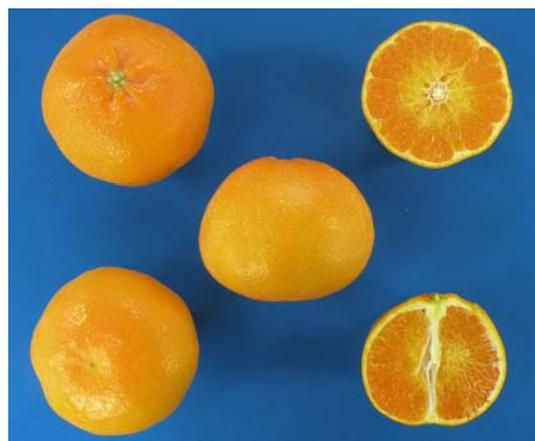


図2 ‘佐賀果試35号’ の果実断面

[その他]

研究課題名: 交雑育種による温暖化に対応したカンキツ品種の開発

予算区分: 県単

研究期間: 2009~2018年度

研究担当者: 岡部春菜・納富麻子・田中義樹

発表論文等: 2015年8月25日品種登録出願(第30410号)